

# 春日神社(津田)の秋祭りを 枚方市初の無形の市登録民俗文化財に

◎写真あり

市は3月10日付けで「春日神社(津田)の秋祭り」を市登録文化財に登録した。無形の民俗文化財としては初めてとなる。毎年10月18日、19日に同神社で行われる提灯と太鼓に特色を持つ祭りで、現存する江戸時代後期の<sup>かざりかなぐ</sup>銚金具の付いた大型の箱提灯や大太鼓を用い、五穀豊穡に感謝する。同様の祭りは市内では他に見られず、地元の7つの町から提灯を出し飾る風習も江戸時代から変わらず今に続いていることなどから無形の民俗文化財として登録した。

## ★市登録文化財制度とは

市では、地域の歴史にとって欠くことのできない文化財を保護するとともに、市民の郷土への理解と愛着の増進を図ることを目的に、平成25年に枚方市登録文化財制度を制定しており、今回の登録により市登録文化財は6件となる。

## ★春日神社(津田)について

春日神社は市域東部の中心的村落であった津田村の氏神で、創立年代は明らかではないが、中世に三之宮神社(穂谷2)の内宮として祀られたと伝えられている。現在の本殿は天明6年(1786)に春日大社(奈良県)の式年造替で旧社殿を移築する「春日移し」である。※末社の若宮八幡宮本殿も同年に同大社末社を移築したものの。

## ★「春日神社(津田)の秋祭り」の概要

春日神社(津田)の秋祭りは提灯と太鼓に特色を持つ祭りである。本来は旧暦9月18日に宵宮、19日に本宮であったが、現在は10月18日に宵宮、19日に本宮を行う。この祭りに7つの町が出す丈約160cmの大型の箱提灯は、上輪・下輪に龍と宝珠、雲、波、龍宮城と浦島太郎などの立体的な銚金具が付き、火袋には献燈の文字、下り藤と三巴紋、鹿と紅葉が色鮮やかに描かれている(裏面写真参照)。

大型の箱提灯は本殿前に谷町、市場町、田中町、大谷町の各町から1張ずつ、大峰町から1対2張の計6張、拝殿入口に横町から1対2張、嶽町から2対4張の計6張が出される。拝殿の軒先には丸提灯(ほおずき提灯と呼ばれる)も吊るされ、神社前の道路上2カ所には高さ5mほどのヤグラ提灯(「南の辻提灯」、「北の辻提灯」と呼ばれる)を各町が毎年輪番で立てる。また、家々の門には家紋を入れた提灯を掲げる。

宵宮、本宮には拝殿に口径約90cmの大太鼓が据え置かれ、「ドンドンドンツツドンツツドンツツドンツツ(サイ)」という節を響かせる。



拝殿前の大提灯



本殿前の大提灯



拝殿前の大提灯



ヤグラ提灯（北の辻提灯）

<参考>他の市登録文化財

名称	種別	登録年月日
そうざ つじ どうひょう 宗左の辻の道標	有形文化財	平成 26 年 4 月 1 日
めいじ じゅうはちねんこうずいひ 明治十八年洪水碑		平成 26 年 4 月 1 日
にんみょうてんのうが いそぼぞうしょういちいたくちしのはか 仁 明天皇外祖母贈正一位田口氏之墓	記念物	平成 26 年 4 月 1 日
さんのみやじんじゃ あまごいへんれい いしどうろう 三之宮神社の雨乞返礼の石燈籠	民俗文化財	平成 30 年 9 月 1 日
たのむらちよくにゆう 田能村直入関係資料（奥田家旧蔵）	有形文化財	令和 6 年 3 月 1 日

<お問い合わせ>

観光にぎわい部文化財課

☎ : 841-1411 FAX : 841-1278